

(5点×8)

3 〈文明の発展・宗教のおこり〉 次の年表を見て、あとの問いに答えなさい。

世紀	ヨーロッパのできごと	世紀	アジアのできごと
紀元前		紀元前	
8	a <u>ギリシャ</u> の都市が栄える	8	春秋・戦国時代になる
		6	Aが <u>儒学</u> を説く
4	アレクサンドロス大王の東方遠征	5	Bが <u>仏教</u> をおこす
		3	b <u>秦</u> がおこる
1	c <u>ローマ帝国</u> ができる		d <u>漢</u> が中国を統一する
紀元後		紀元後	
1	Cが <u>キリスト教</u> をおこす	7	Dが <u>イスラム教</u> をおこす

(1) A～Dにあてはまる人物の組み合わせを、次から1つ選びなさい。 []

- ア A-孔子 B-シャカ C-ムハンマド D-イエス
- イ A-孔子 B-シャカ C-イエス D-ムハンマド
- ウ A-シャカ B-孔子 C-ムハンマド D-イエス
- エ A-シャカ B-孔子 C-イエス D-ムハンマド

(2) 次の①・②の語句に関係する思想・宗教を、波線部ア～エからそれぞれ選びなさい。

① [] ② []

ア 十字架 聖書

エ メッカ コーラン



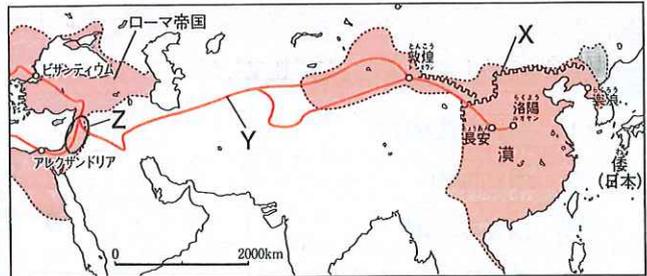
(3) 下線部aについて、右の写真の神殿を中心に造られ、成年の男性市民が参加する民主政が行われた都市国家はどこか。

[]

(4) 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

① Xについて述べた次の文中の 1, 2にあてはまる語句の組み合わせを、下から1つ選びなさい。 []

下線部bの時代、1が2のために造らせた。



- ア 1-武帝 2-洪水から田畑を守る イ 1-武帝 2-遊牧民の侵入を防ぐ
- ウ 1-始皇帝 2-洪水から田畑を守る エ 1-始皇帝 2-遊牧民の侵入を防ぐ

② Yの交易路を何というか。カタカナで答えなさい。 []

③ 下線部cと下線部dについて、地図からわかることとして誤っているものを、次から1つ選びなさい。 []

- ア ローマ帝国はアフリカにも領土を広げている。 イ 漢は中央アジアにも領土を広げている。
- ウ ローマ帝国と漢は国境を接している。

④ Zでキリスト教がおこる以前に広く信じられてきた宗教を、次から1つ選びなさい。 []

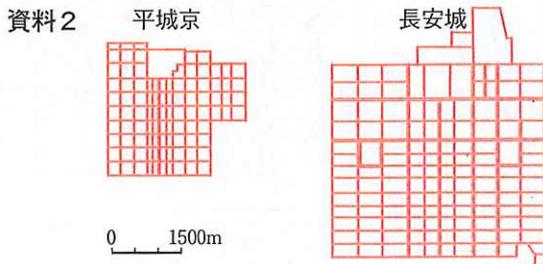
- ア ヒンドゥー教 イ ユダヤ教 ウ ギリシャ正教

1 〈奈良時代の政治・外交〉 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。(5点×9)

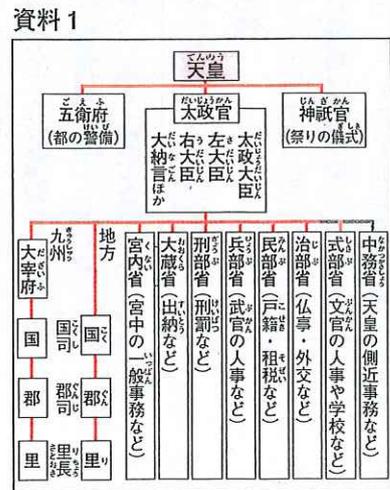
- (1) 下線部 a を何というか。 []
- (2) 資料 1 は、下線部 a による役所の仕組みを示している。次の文にあてはまる役職を、資料 1 からそれぞれ選びなさい。
- ① [] ② []
- ① 二官のうち政治を行う役所の長。
- ② 地方の役人で、中央の貴族が派遣された。
- (3) [A] にあてはまる貨幣を何というか。

年代	できごと
701	a 唐にならったきまりが作られる
708	[A] が造られる
710	b 平城京に都が移される
717	阿倍仲麻呂が c 遣唐使に同行し留学
723	d 三世一身法が出される
741	[B] が国分寺建立の命令を出す
743	e 墾田永年私財法が出される

- (4) 下線部 b について、平城京と唐の長安城に共通する特徴を、資料 2 を見て簡単に答えなさい。



- (5) 下線部 c が送られた目的を簡単に答えなさい。



- (6) 資料 3 は下線部 d、資料 4 は下線部 e の内容を示している。2つの資料を読み取って述べた文として誤っているものを、下から 2つ選びなさい。 [] []

資料 3 三世一身法

最近、だんだんと人口が増加し、口分田とする土地が不足してきた。土地を新たに開墾した場合には、面積の大小にかかわらず、本人・子・孫の三代の私有を認める。

資料 4 墾田永年私財法

*養老 7 年の規定では、墾田は期限が終われば、ほかの土地と同様に国に収められることになっている。しかし、このために農民は意欲を失い、せっかく土地を開墾しても、またあれてしまう。今後は私有することを認め、期限を設けることなく永久に国に収めなくてもよい。

*養老 7 年の規定=三世一身法

- ア 口分田が不足したので、農地を増やすため、三世一身法が出された。
- イ 三世一身法では、新たに開墾した土地もいずれは国のものになった。
- ウ 三世一身法が非常にうまくいったので、さらに墾田永年私財法を出した。
- エ 墾田永年私財法では、新たに開墾した土地をいつまでも私有することが認められた。
- オ 墾田永年私財法によって、公地・公民の原則が確立した。
- (7) [B] にあてはまる人物を答えなさい。 []

2 <奈良時代の社会> 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

(5点×7)

- (1) 資料1中のA, Bにあてはまる税を、それぞれ漢字1字で答えなさい。

A []

B []

- (2) 資料1中の [C] にあてはまる、九州北部に送られた兵士を何というか。漢字2字で答えなさい。

[]

- (3) 資料2は、戸籍の一部である。次の問いに答えなさい。

- ① 戸籍に基づいて国から口分田を支給し、死ぬと返させるきまりを何というか。

[]

- ② 次の文中の [X], [Y] にあてはまる数字を、それぞれ答えなさい。資料2

X [] Y []

資料2の戸籍に記された家族のうち、租を納めるのは [X] 人、
雑徭の義務があるのは [Y] 人である。

資料1 一般の人々の負担

6歳以上の男女			
租	稲(収穫量の約3%)		
	正丁 (21~60歳の男子)	老丁 (61~65歳の男子)	少丁 (17~20歳の男子)
A	絹, 糸, 真綿, 布, 特産物	正丁の $\frac{1}{2}$	正丁の $\frac{1}{4}$
B	布(麻布など): 労役10日のかわり	正丁の $\frac{1}{2}$	なし
雑徭	地方での労役(年間60日以下)	正丁の $\frac{1}{2}$	正丁の $\frac{1}{4}$
兵役	食料・武器を自分で負担し, 訓練を受ける。 一部は都1年が [C] 3年	なし	なし

男 部 和 智 志	男 部 久 漏 呂	妻 部 西 豆 売	母 野 部 伊 志 売	戸 主 部 乃 母 曾	筑 前 國 嶋 郡 戸 籍 川 辺 里
年 陸 歳	年 拾 玖 歳	年 肆 拾 肆 歳	年 肆 拾 肆 歳	年 肆 拾 玖 歳	
小 子	少 丁	丁 妻	者 女	正 丁	

- (4) 奈良時代の農民について述べた文として誤っているものを、次から1つ選びなさい。

- ア 良民のほか、奴婢などの賤民がいた。
イ 重い負担からのがれるため逃亡する農民もいた。
ウ 多くはたて穴住居に住んでいた。
エ 主食は米で、魚介類や肉類、蘇(チーズ)もよく食べていた。

3 <奈良時代の文化> 右の表を見て、次の問いに答えなさい。

(5点×4)

- (1) [A] ~ [C] にあてはまる書物名の組み合わせを、次から1つ選びなさい。

- ア A-古事記 B-万葉集 C-風土記
イ A-古事記 B-風土記 C-万葉集
ウ A-風土記 B-万葉集 C-古事記
エ A-風土記 B-古事記 C-万葉集

歴史書	[A] にほんしょき 日本書紀
地理書	[B]
和歌集	[C]
建築物	a とうだいじ 東大寺 b とうしやうだいじ 唐招提寺

- (2) 下線部aにある、「五絃の琵琶」や「白瑠璃碗」などの宝物が収められていた右の写真の建物を何というか。

[]

- (3) 下線部bを建てたのは、いくども航海に失敗し、盲目になりながらも日本に来て、正しい仏教の教えを伝えた唐の僧である。この僧はだれか。

[]

- (4) 下線部a, bが建てられたころの文化を何というか。

[]



p.14~15

- 1 (1) A猿人 B新人
 (2) 旧石器時代
 (3) イ
 (4) (例)食べ物を煮て食べられるようになった。
- 2 (1) Aエジプト Bメソポタミア Cインダス
 D中国
 (2) ウ
 (3) ア
 (4) カ
- 3 (1) イ
 (2) ①ウ ②エ
 (3) アテネ
 (4) ①エ ②シルクロード ③ウ ④イ

解説

- 1 (1) 猿人は直立歩行を始めた最古の人類、新人は私たちの直接の祖先である。
 (2) 磨製石器を使う時代は、新石器時代という。
 (3) ヨーロッパには、中東を通して、陸伝いに広がった。日本列島に人類がやってきた約4~3万年前は氷河時代で、海面が今より低く、陸続きだった。シベリアから北アメリカ大陸に人類が広がった約3万年前も陸続きだった。
 (4) 土器の発明により、それまで食べられなかったものを煮て食べられるようになり、貯蔵もできるようになった。
- 2 (2) ピラミッドは巨大な建造物で、多くの人を働かせ、資材を調達できる権力を持つ者がいたことがわかる。
 (3) 殷の青銅器は、重量があり、細かい文様がほどこされていて種類も多い。
- 3 (2) ②メッカはイスラム教の聖地。
 (3) 写真は、ギリシャのアテネにあるパルテノン神殿。ギリシャの都市国家はポリスと呼ばれ、丘の上の神殿を中心に造られた。
 (4) ①Xは万里の長城。武帝は漢の皇帝。②シルクロードは、砂漠のオアシス都市を結んでいた。中国から西方に絹が、西方から中国に馬やぶどうが伝えられた。③ローマ帝国と漢の間にはいくつかの国がある。④アはインドに広がった。ウはキリスト教の一派で、ローマ帝国が東西に分裂した後、東ローマ帝国で広がった。

p.30~31

- 1 (1) 大宝律令
 (2) ①太政大臣 ②国司
 (3) 和同開珎
 (4) (例)道路で碁盤の目状に区画されている。
 (5) (例)唐の進んだ制度や文化を学ぶため。
 (6) ウ・オ (7) 聖武天皇
- 2 (1) A調 B庸 (2) 防人
 (3) ①班田收授法 ②X5 Y2
 (4) エ
- 3 (1) イ (2) 正倉院 (3) 鑑真
 (4) 天平文化

解説

- 1 (1) 大宝律令の完成により、日本は法律に従って政治を行う律令国家となった。
 (2) ①二官は神祇官と太政官。太政大臣は、天皇に次ぐ高い位である。②郡司には地元の豪族が、里長には有力な農民が任命された。
 (3) 埼玉県の秩父地方から銅が献上されたことを記念して発行された。和同開珎以前に、富本銭が造られたが、発見例が少なく、実際に使われたかはわからない。
 (4) 東西の区画を条、南北の区画を坊という。奈良には現在も、一条通り、三条通りなどの地名が残っている。
 (6) ウ資料4の「またあれてしまう」から、三世一身法がうまくいかなかったことがわかる。オ班田永年私財法で私有地を認めたことで、公地・公民はくずれた。
- 2 (3) ②租は6歳以上の男女なので、全員。雑徭は17~65歳の男子なので、2人。
 (4) エは貴族の食事、調として納められた地方の特産物などを数種類食べていた。農民の食事は主に玄米と塩、野菜の汁などの質素なものだった。
- 3 (1) 奈良時代には、朝廷の命令で、歴史書や地理書、和歌集がまとめられた。
 (2) 正倉院は東大寺の倉で、校倉造という建築方法で建てられている。「五絃の琵琶」にはらくだとなつめやしの装飾が施され、「白瑠璃碗」は同じようなものがイランから出土している。
 (4) 天平は、聖武天皇のころの元号。天平文化の特色は、仏教と唐の影響が強くと、国際色豊かな文化であること。